

小田原市教育委員会臨時会会議録

- 1 日時 平成22年8月5日(木)午後6時00分～午後7時20分
場所 小田原市役所 全員協議会室

2 出席した教育委員の氏名

- 1 番委員 山 田 浩 子
2 番委員 前 田 輝 男 (教育長)
3 番委員 桑 原 妙 子 (教育委員長職務代理者)
4 番委員 和 田 重 宏 (教育委員長)
5 番委員 山 口 潤

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

- | | |
|---------------|---------|
| 学校教育部長 | 川久保 孝 |
| 教育総務課長 | 曾 我 勉 |
| 教職員担当課長 | 長 澤 貴 |
| 教育指導課長 | 西 村 泰 和 |
| 教育指導課長補佐兼指導主事 | 栗 畑 寿一朗 |
| 教育研究所長 | 小 泉 信 二 |
| 教育指導課指導主事 | 岩 崎 由美子 |
| 教育指導課指導主事 | 米 山 好 絵 |
| 教育指導課指導主事 | 鈴 木 一 彦 |

(事務局)

- | | |
|---------------------|---------|
| 教育総務課長補佐・総務担当主査事務取扱 | 向 笠 勝 彦 |
| 教育総務課上級主査 | 瀬 戸 英 樹 |

4 議事日程

- 日程第1 議案第12号 平成23年度使用教科用図書の採択について(教育指導課)

5 議事等の概要

- (1) 委員長開会宣言
- (2) 会議録署名委員の決定…桑原委員、山口委員に決定
- (3) 日程第1 議案第12号 平成23年度使用教科用図書の採択について

(教育指導課)

提案理由説明…教育長、教育指導課長

前田教育長…それでは、議案第12号「平成23年度使用教科用図書の採択について」を御説明申し上げます。中学校の教科用図書につきましては、今年度は採択換えの年ではなく、5月の定例会において議決した「採択方針」のとおり、資料の2ページにありますように、昨年度採択した教科書と同一の教科書を採択することとしております。今回は、小学校の通常学級で使用する教科用図書と、特別支援学級で使用する教科用図書の採択を行うこととなります。小学校の教科用図書につきましては、今年度はその採択の年となっております。今回採択する小学校の教科用図書につきましては平成26年度まで使用することとなります。また、特別支援学級における教科用図書の採択につきましては「学校教育法附則第9条」により、1年毎に採択することとなっております。細部につきましては、所管から御説明申し上げます。

和田委員長…今回の平成23年度使用教科用図書の採択は、小学校教科用図書と特別支援学級で使用する教科用図書ですので、これを分割して審議したいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし・全員賛成)

和田委員長…それでは、はじめに「小学校教科用図書の採択」について審議します。事務局から説明をお願いします。

教育指導課長…それでは私から「平成23年度使用教科用図書の採択」につきまして御説明申し上げます。前回の7月26日の臨時会及び29日の定例会において、小学校11種目の教科について詳しく協議をしていただき、各種目に

ついて2社から3社に絞り込んでいただきました。本日は、その絞り込んでいただきましたものから、平成23年度使用の小学校教科用図書の採択をしていただきます。これまでもお伝えしておりますが、小田原の児童にとってもっともふさわしい教科書を選んでいただくこととなりますので、よろしくお願ひします。具体的には本日の配布資料の1ページにある一覧表の中から1種目毎に1社を採択していただくこととなります。なお、中学校の教科書については、採択換えの年度ではないことから、平成23年度に使用する教科書については、5月25日の教育委員会定例会において「平成23年度使用中学校用教科書については平成22年度採択したものと同一の教科書を採択する」ということを議決していただいております。本日は改めて採択するものではございませんが、中学校の教科書の一覧につきましては本日の資料の2ページに掲載しておりますのでご確認いただきますようお願いいたします。また、特別支援学級の教科用図書につきましては、教育長の説明にもありましたとおり、毎年採択することとなっております。詳しくは小学校の教科書の採択をしたあとにお話をさせていただきたいと思ひます。では、よろしくお願ひいたします。

和田委員長…それでは採決に移りたいと思ひます。7月26日の臨時会及び29日の定例会におきまして、各種目の協議がほとんど済んでおりますので、本日はそれらを踏まえ、種目ごとに協議した後に、種目ごとに採択する方法を進めて行きたいと思ひますが、いかがでしょうか。

(異議なし・全員賛成)

和田委員長…ご異議もないようですので、種目ごとに協議した後に、採択していきます。みなさんに協議をしていただいた結果、各種目2社から3社に絞り込みを行いました。それについて、1つずつ採択をしていきますので、よろしくお願ひします。まず、採択の方法ですが、挙手による多数決で決定いたします。お1人1票とすると、3社ある場合については、「2票－2票－1票」などと、票が割れてしまう場合も考えられますが、その場合は、2票ずつ

獲得した2つの教科書について、再度皆さんの挙手を求め、3票以上獲得したものを採択教科書として決定いたします。2社から採択の場合は、どちらかが3票以上となりますから、その3票以上獲得した教科書が採択となります。票を確認するため1番目に挙手を求めた教科書が3票または4票の獲得をし、採択する教科書が決まったとしても、2番目の教科書も確認のために挙手を求めますのでご了承願います。

①種目 国語

和田委員長…それでは、早速ですが、国語については、前回絞り込んだのは、順不同で申しあげますと、「教育出版」「光村図書」「三省堂」の3社です。本日、採択する教科書を絞るという方向で意見を述べていただきたいので、各委員が特に推す教科書について、その良さを述べながら、ご意見を出していただきたいと思います。

前田教育長…これまでの協議の中でも意見を出してきましたが、どの学年においても、児童の発達段階に即した魅力的な読み物教材が配置されているのは、「光村図書」であると考えます。具体的には、1年生の「くじらぐも」「たぬきの糸車」、2年生の「たんぼぼのちえ」「スイミー」「お手紙」、3年生の「ありの行列」「ちいちゃんのかげおくり」「モチモチの木」4年生の「一つの花」「ごんぎつね」5年生の「大造じいさんとガン」「わらぐつの中の神様」6年生の「やまなし」「平和のとりでを築く」など、ぜひ読ませていきたい物語や説明文が多様にあります。物語では、日本の文学作品と外国の文学作品が織り交ぜられ、バランスよく配置されていると思います。

和田委員長…前回の協議の中でも話しましたが、伝統的な言語文化の教材例では、各社それぞれが児童の関心を高めるような工夫をしていましたが、「光村図書」の教材量が群を抜いて多かったように思います。また、6年生で能ではなく狂言を教材として扱っています。伝統芸能の中では狂言が子どもたちにとって非常に分かりやすいものですので、これを取り上げたのだと思いますし、650年前の室町時代の言葉をそのまま表現していくという部分で、古典にも通じていく準備が小学校の段階から出来るのではないかと思います。そのようなことから、全体として「光村図書」を評価したいと思いま

す。

桑原委員…私も「光村図書」を推しているのですが、文章のフレーズ間などが他の教科書とは違うように思います。6年生で「鳥獣戯画」を読むという部分があるのですが、絵を読むという視点が非常にユニークで面白いと感じました。また、巻末に漢字がまとめてありますので、それも非常に勉強するのに役に立つのではないかと思います。

山田委員…私も「光村図書」が良いと思いました。全体を通じてバランスの良い教科書だと感じましたし、それぞれの学年の発達段階に応じた魅力的な読み物が多く、また、その読み物の作者や他作品の簡単な紹介があるところが、子どもたちの読書への興味を抱かせるのに良いと思いました。ただ、「教育出版」も心の交流を扱った、思いやる気持ちのある読み物が多く、6年生の「中学生になるみなさんへ」というコーナーで「21世紀を生きる君たちへ」というメッセージを司馬遼太郎氏が書いてありますが、それはとても素晴らしい文章で、ぜひ子どもたちに読んでいただきたいと思いました。

和田委員長…「光村図書」を推す意見が多いようですが、私は漢字の部分では「三省堂」がとても丁寧に導入していると思いました。ただ、全体としてはやはり「光村図書」が良いと思いました。

それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので「教育出版」「光村図書」「三省堂」の3社から、挙手により採択していきたいと思います。まず、「教育出版」に賛成の方の挙手を求めます。

教育出版…挙手なし

光村図書…5人全員が挙手

三省堂…挙手なし

和田委員長…それでは、国語は「光村図書」を採択いたします。

②種目 書写

和田委員長…では次に、書写について採択を行いません。前回までに絞り込んだものを

順不同で申しますと「東京書籍」「光村図書」「三省堂」の3社です。それでは、委員の皆さんのご意見を伺いたいと思います。まず、私から話をさせていただきます。基礎的基本的な技能の習得に向けて、各社色々な工夫がされていましたが、筆の運びをイメージしやすくするために、「スー・トン」などの擬音を用いていたのが、「光村図書」と「東京書籍」でした。筆圧を○の大きさに表してイメージさせていたのが、「三省堂」でした。「光村図書」は、悪い例も掲載することで、子ども自身が気づくように工夫されていました。全体として工夫がされているのは「三省堂」だと私は思いました。

桑原委員…国語は「光村図書」が採択されましたので、単純ですが、書写も同じ出版社のほうが同じ方向を向いていて良いのかなと思うのと、使っている例題に「希望の春」など、明るい前向きな言葉を使って字の勉強をするように作っている点が良いと思いました。また、手紙を書く機会が少なくなっているとは思いますが、手紙の書き方として、縦書き、横書きなど、実際に使えるようなものが載っていますので、「光村図書」が良いと思いました。

前田教育長…私も桑原委員と同じ意見なのですが、国語が光村図書の採択ということから、書写も「光村図書」のほうが望ましいというように思います。具体的に国語の教科書との関連で、「光村図書」は、国語の教科書の学習で取り上げた教材を、書写においても取り上げているところが随所に見られます。1年書写の25ページには「かん字のはなし」という教材で、国語教科書の114ページの「かんじのはなし」という教材を受け、漢字の成り立ちについて国語と書写と同様に扱っています。また、1年書写の「おはなしや文しょうをかこう」という教材では、国語の教科書『1年下』の教材にある「くじらぐも」の文章を引用しているので、学びやすさがあると同時に教えやすさもあると思います。同様に2年生でも国語の教科書の「お手紙」という教材の中の文章を書写に引用しております。以上のことから、「光村図書」が良いのかなと思います。

山田委員…筆の運びの例が、他の教科書は墨と朱色で表しているのですが、「光村図書」は墨の濃淡だけではっきりと大きく書いてあるので、指先の動きや力の入れ方がすごく分かりやすいと思いました。

山口委員…「三省堂」が丁寧で分かりやすいと思いました。私は書道が苦手なので、自分が読んでみて感心する部分がたくさんありました。また、毛筆ではないのですが、「っ」などの小さい文字を横書きの際にどこに書いたら良いのかに触れていたのも「三省堂」だけでした。「おれいの気持ちをつたえよう」という単元で礼状を書くことも扱っており、良いと思いました。

和田委員長…それでは、皆さんからの意見も出尽くしましたので「東京書籍」「光村図書」「三省堂」の3社から、挙手により採択していきたいと思います。まず、「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…挙手なし

光村図書…3人の委員（山田委員、前田教育長、桑原委員）が挙手

三省堂…2人の委員（和田委員長、山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、書写は「光村図書」を採択いたします。

③種目 社会

和田委員長…では次に、社会について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと「東京書籍」「教育出版」「光村図書」の3社です。3社とも資料やデータの信頼性があり、それぞれ工夫がなされ、学習指導要領における改善事項の言語活動、伝統や文化に関する教育、体験学習等の充実が図られているようです。皆さんのご意見をお願いいたします。

前田教育長…前回の協議の中では、身近な素材を扱っている教科書の方が、子どもたちの興味・関心を高めるといった意見があったと思います。その点を整理すると、「教育出版」の3・4年上には、しゅうまいづくり、ほうれん草づくりなどの横浜市の素材が、下には、酒匂川、相模川の水、小田原の荻窪用水が取り上げられ、飯泉の取水堰、山北の三保ダムが記載されています。また、6年では、箱根の大名行列、鎌倉の流鏝馬、横浜の中華街、川崎市が取り上げられています。「光村図書」も3・4年下の「いいところいっぱい、私たちの県」で、箱根駅伝、箱根の寄せ木細工、横浜市、三浦市を取り上げています。そのようなことで、この2社については我々の身近なところ

の素材を使っているという印象があります。その中でも、「教育出版」のほうを取り上げ方が多いかなと思いました。

和田委員長…前田教育長から話があったように、「教育出版」では、県内の馴染みのある学習素材が提示されているというところで評価出来ると思います。さらに、随所に学習の進め方の参考になる「学びの手引き」を配して、学び方の基礎・基本が定着するような配慮がされていると思いました。そのようなことから私は「教育出版」を推します。

山口委員…私も「教育出版」を推しているのですが、先ほど前田教育長も仰ったように、神奈川や小田原に関連するものが多く、児童が親しみやすいかなという部分と、3・4年上巻の終わりのほうに、「わくわく社会科ガイド」というコーナーがあり、そこではインタビューの仕方や電話の掛け方などが、とても分かりやすく載っており、とても良いと感じました。「光村図書」については、小田原に関連するものが「教育出版」に次いで多いと思いましたし、時代とともに変化する子どもの生活を表した「みんなでさがそう、昔のくらし」というコーナーはとても良いと思いましたが、総合的に見て、「教育出版」を推させていただきます。

和田委員長…実は、私は「東京書籍」と「教育出版」で迷いました。と言いますのも、「東京書籍」は「つかむー調べるーまとめる」という学習の流れが、各学年で一貫していました。そのような学び方は良いなと思いました。

桑原委員…私は「東京書籍」が良いと思いました。スーパーマーケットのような現実的なことに加え、古い建物や行事についても載っていたので、今までの歴史を大事にしながら現代のことも載せているということで、非常に視野も広くて良いなと思いました。

前田教育長…私も「東京書籍」も良いなと思いましたが、総合的には「教育出版」が良いと思いました。人権、福祉、環境、国際理解、情報などの社会的重要課題について、各学年の学習内容に合わせて、系統的にとらえられるように教科書が構成されている点や、社会科用語には見開きごとにふりがなをつけ、わかりやすい文章表現や語句の解説もあり、子どもの理解をスムーズにするような手立てが講じられていると思います。

和田委員長…それでは、意見も出尽くしましたので、「東京書籍」「教育出版」「光村図

書」の3社から、挙手により採択していきます。「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…1人の委員（桑原委員）が挙手

教育出版…4人の委員（山田委員、前田教育長、和田委員長、山口委員）
が挙手

光村図書…挙手なし

和田委員長…それでは、社会は「教育出版」を採択いたします。

④種目 地図

和田委員長…では次に、地図について採択を行いません。地図は「東京書籍」と「帝国書院」の2社しかありません。どちらの地図も学習指導要領に沿って内容が提示されており、各種統計資料は、最新のデータを使うなど信頼性があり、主体的な学習ができるように工夫されているということでした。皆さんのご意見をお願いいたします。

山口委員…地図は授業だけで使うものではないと思います。新聞やテレビで地名が出た時に、地図を開いて場所を確認することで、勉強になり、覚えていくものだと思います。「帝国書院」は日本全土が100万分の1の縮尺で8ブロックに分けて載っているが、「東京書籍」では200万分の1の縮尺でしか載せていませんでした。もちろん、部分的に拡大して、50万分の1の地図もあり、それだとすごく細かいところも分かるのですが、それが日本全国に至っていないので、教科書に出ているところを調べるのには良いけれども、残念ながら出ていない地名もあるだろうというところを考えると、「帝国書院」のほうが、くまなく出ていて良いと思いました。

桑原委員…先ほどの国語と書写の関係と同じなのですが、私は、社会は「東京書籍」が良いと思ったものですから、地図も「東京書籍」が良いと思いました。私は音楽の関係で実際に子どもたちと過ごしていますが、「東京書籍」の地図は色々と大陸別に他の国のことや国旗などが載っているので、曲を練習するときも、この国の曲だということを、地図を見ながら教えることがで

き、とても使いやすい地図だと思いました。

前田教育長…私も社会科の教科書が「東京書籍」になれば、関連制がある地図帳も「東京書籍」のほうが良いのかなと思いましたが、そうではありませんので、良さについては前回詳しく述べましたので、割愛させていただきますが、地図帳としては、地形図の配色を一貫して使っている「帝国書院」のほうが扱いやすいのではないかと考えます。ただ、「東京書籍」も枠取りをカーナビのようにして、親しみやすい雰囲気があったと思いました。

和田委員長…前回の協議でも委員の皆さんからは色々な意見が出ましたので、それを基にして、「東京書籍」「帝国書院」の2社から、挙手により採択していきます。「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…1人の委員（桑原委員）が挙手

帝国書院…4人の委員（山田委員、前田教育長、和田委員長、山口委員）
が挙手

和田委員長…それでは、地図は「帝国書院」を採択いたします。

⑤種目 算数

和田委員長…次に、算数について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと「東京書籍」「大日本図書」「啓林館」の3社です。3社とも基礎的・基本的な知識、技能の定着を図るための学習活動と、思考力・判断力・表現力を伸ばすための学習活動がバランスよく配列されていると思います。皆様のご意見をお願いいたします。まず、私から話をさせていただきますと、算数は他の教科と比べると、嫌いになる子どもが多く、導入の部分がとても大事ではないかと思えます。特に小学校1年生になったときのことを考えると、「東京書籍」と「啓林館」では1年生の就学初期に対する配慮が他の教科書と比べると非常に良いと思いました。ただ、「啓林館」はその後、数学的に少し難しくなってくると感じましたので、私は「東京書籍」が良いのではないかと思いました。

山口委員…私は中学生の娘がいるので、中学生の数学において何が大変かと尋ねたと

ころ、公倍数・公約数を求めるために分数を使っていくことや、 x y を使った方程式を求めたりするので、四角を使った式などが小学生のときの基礎で、それが出来ていると中学生になって楽になると言っておりましたので、前回も話しましたが、いくつかの大事そうな項目を抽出して、ポイント制で総合得点を求めたところ、「東京書籍」のポイントが最も高くなりました。

桑原委員…和田委員長も仰っていたように、「東京書籍」は導入の仕方が、算数というよりもゲームのような、とても楽しそうな雰囲気、次はどうなっているかということを知るために、子どもたちが次々と先に進みたくするような作り方をしている、とても良いと思いました。一生算数を好きであれば、人生も変わって来ると思いますので、導入は大事だと思いました。

前田教育長…今の導入の話と関係しまして、「東京書籍」は基本的な構成として、主問題が枠で囲まれており、次に問題解決の仕方や手順などが例示されていて、問題解決型の学習が可能になるように配列されています。基礎的・基本的な知識や技能の習得と、それを活用した思考力・判断力・表現力を育てるためのバランスを図る学習展開として優れていると思いました。また、学習指導要領において「算数的活動」を重要視していますので、日常生活に生かせるような体験的な活動例や具体物を使った活動などが扱われている点で評価いたします。

和田委員長…前回も色々ご意見をいただいておりますので、ここで採択ということによろしいでしょうか。「東京書籍」「大日本図書」「啓林館」の3社から、挙手により採択していきます。「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…5人全員が挙手

大日本図書…挙手なし

啓林館…挙手なし

和田委員長…それでは、算数は「東京書籍」を採択いたします。

⑥種目 理科

和田委員長…次に、理科について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものは「大日本」と「学校図書」の2社です。ともに教科書の大きさがA B版という今までより少し大きいサイズで見やすく、文字表現や漢字、仮名遣い、用語など適切に表現されていますが、では皆様のご意見をお願いいたします。

山口委員…前回もお話ししましたが、「なぜ」という疑問を持って、それを解決するためにはどうしたら良いだろうという方法を考えて、結果を出した後はどうしてだろうという考察をしなければ理科や科学ではないだろうと思いますが、「大日本」はそういった理科の流れが一貫していました。「学校図書」も「考えよう・調べよう」という自由研究のコーナーで、4年生にはデジカメの使い方、5、6年生にはレポートの書き方などが学年に応じて細かく出ていて、すごく良かったと思いました。迷いましたが、理科の考え方が一貫しているので、「大日本」を推します。

山田委員…私は「学校図書」が良いと思いました。まず、單元ごとに目的・めあてがはっきりと示されていて、写真やイラストもきれいで分かりやすいので、子どもたちが実験・観察・考察が分かりやすく捉えられるという点が評価できますし、3～6年生の教科書の裏に、まどみちお氏や金子みすずさんの、「雲」「水と影」など、詩が載っているのもとても良いと思いました。日本では文科系と理科系とで割と分けて考えがちですが、理科の教科書に素敵な詩を載せているという姿勢がとても評価できると思います。

桑原委員…私も山田委員と同じような受け取り方をしました。どうしても理科というと、固いイメージを受けてしまいがちですが、「学校図書」では実際に川に行けない子どものために資料映像があったり、詩が載っていたりすることで、温かみがあるような感じで、子どもたちも理科を好きになれるのではないかと思います。

前田教育長…「学校図書」は理科という実学の領域でありながら、心情を高める配慮がなされていると感じました。生物と接する際に命の大切さ、生命愛護の態度を養うような投げかけを行ったり、自然保護の観点から外来生物に関して遺伝子攪乱や外来生物の問題を取り上げたりして、責任をもって飼育することを促すような記述を各所に取り入れ、工夫しています。また、天体

や地層、川などは、地域によっては実際に見ることができない環境に配慮し、資料画像が多く掲載されているように感じました。

和田委員長…それでは、意見も出尽くしましたので、「大日本」と「学校図書」の2社から、挙手により採択していきます。まずは「大日本」に賛成の方の挙手を求めます。

大日本図書…1人の委員（山口委員）が挙手

学校図書…4人の委員（山田委員、前田教育長、桑原委員、和田委員長）が挙手

和田委員長…それでは、理科は「学校図書」を採択いたします。

⑦種目 音楽

和田委員長…では次に、音楽について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと「東京書籍」「教育出版」「教育芸術」の3社です。3社とも児童の実態に合わせて、弾力的に指導できる構成・内容になっています。それぞれの学年の発達の段階に応じた教材が配列されていることも評価できます。皆様のご意見をお願いいたします。

桑原委員…私は「教育出版」が良いと思っているのですが、理由としては編集をしているのが日本を代表する音楽家である三善晃先生であり、先生は子どもに対してとても暖かいものを持っており、子どもの音楽教育に情熱を傾けていらっしゃるのので、一貫して三善先生の子どものに対する音楽教育の姿勢のようなものを感じました。「教育出版」では日本で古くから歌われている曲が多く取り上げられていましたが、他の教科書には現在流行っている曲が多いように割りと見受けられました。長い目で見ると、現在流行っている曲は、一見すると子どもは喜ぶかもしれませんが、心の底に残っていくものではないと思います。また、色々と写真が使われていますが、「教育出版」は正統的な有名な音楽家が使われているのに対し、他の教科書はタレントが使われていました。地味ですが、一番基本を押さえているのは「教育出版」だと思いました。

山田委員…私も「教育出版」が良いと思いました。桑原委員と重なりますが、1年生から6年生まで、音楽の基本的な力が自然に身に付くような作りになっていると思いましたし、合唱やオーケストラ、アンサンブルの魅力を分かりやすく子どもたちに伝えており、音楽の喜びや音楽の心の出し方を自然に子どもたちに訴えかけている曲や構成になっていると思います。また、小沢征爾氏やヨーヨー・マ氏など、第一線で活躍しているプロの方から子どもたちへのメッセージが書いてあり、それもとても良いのではないかと思います。

前田教育長…前回の臨時会で私は、「教育出版」の教科書はレベルが高すぎて、現場ではどうかという話しをしましたが、「教育出版」では日本の音楽が多様に使われており、教育基本法の「郷土を愛する心」「国を愛する心」等の観点から見ると、日本の音楽の文化に愛着を持つことが、他国の音楽文化を尊重しようという態度を育てるのかなと論議している中で思いました。また、音楽では鑑賞のページはあまり重視されないのですが、「教育出版」では鑑賞を通じて言語活動の充実をねらっているような構成がなされているように思います。鑑賞のページに、鑑賞を通して気付いたこと、感じたことを記入できるワークシートが付いており、各ポイントがそこに明示されています。子どもたちがどのようなことに注意して音楽を聴けば良いか、感じ取ったり思ったりしたことをどういった言葉で表現すれば良いかということが書いてあるので、鑑賞の指導が大変しやすいのではないかと思います。

山口委員…私は音楽の素人なので、逆に見やすさなどを考えたのですが、「教育出版」は、まずタイトルがあり、加えて目標やポイントというコーナーがあるのですが、そのポイントの場所がページによって色々なところに飛んでいます。一方で「教育芸術」は目標がタイトルのすぐ下にいつも同じレイアウトで配置されており、タイトルの色もほぼ黒を基調としていて、注意点等がいつも分かりやすいため良いと思いました。

和田委員長…それでは、「東京書籍」「教育出版」「教育芸術」3社から、挙手により採択していきたいと思います。「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…挙手なし

教育出版… 3人の委員（山田委員、前田教育長、桑原委員）が挙手

教育芸術… 2人の委員（和田委員長、山口委員）が挙手

和田委員長… それでは、音楽は「教育出版」を採択いたします。

⑧種目 図画工作

和田委員長… では次に、図画工作について採択を行いません。前回までに絞り込んだものは「東京書籍」と「開隆堂」の2社です。皆様のご意見をお願いいたします。まず、私から話をさせていただきますと、図画工作といういわゆるアートの世界ということになると、一番気になるのは全体のレイアウトや構成ではないかと思います。その視点から見ると、「東京書籍」が優れているのではないかと私は思いました。

前田教育長… レイアウトに関してですが、「東京書籍」は一つの題材を一貫して見開きで扱っているのが、子どもたちにとって大変見やすいのではないかと思います。また、右側のカラーインデックスにより、子どもたちがどのようなことをするのかが分かるようになっています。それと、單元ごとに黒板型のコーナーがあり、めあてが書いてありますが、そのめあての内容が子どもたちにとって非常に分かりやすいものになっておりますし、活動するのにイメージしやすいようになっていると思います。

山田委員… 私は「開隆堂」が良いと思いました。全体的に生き生きと明るい力が感じられる教科書だと思いました。それと、子どもたちに本物の作品を見せたいと思いますので、見開きのページを大きく使って、色々な作者の絵や彫刻やきれいな写真を載せているところは、とても評価出来ると思いました。

山口委員… 「開隆堂」は目次を開いたときに、タイトルの横に必要な材料が一目で分かるように載っており、忘れ物をしづらいと思いますし、また、子どもたちが、「このような材料を使えば作れる」ということが一目で分かって良いと思いました。それと選択項目について色を付けて、非常に分かりやすくなっていたので、苦手な子どもにとってもこのような部分は大事なかなと思いました。

桑原委員… 私は「東京書籍」が良いと思いました。身近な新聞紙や布で遊ぼうといっ

たものや、最後のほうのページでは一年分のまとめのような構成になっており、非常に子どもが馴染みやすいように思いました。図画工作が嫌いな子どもは基本的にはいないのではないかと思います。感性が目覚めて楽しめるということが一番大事ではないかと思います。そういった意味で、子どもの側に立って作っていると思いました。

和田委員長…全員の委員から意見をいただきましたので、「東京書籍」と「開隆堂」の2社から、挙手により採択してまいります。まずは「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…3人の委員（前田教育長、桑原委員、和田委員長）が挙手
開隆堂…2人の委員（山田委員、山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、図画工作は「東京書籍」を採択いたします。

⑨種目 家庭

和田委員長…では次に、家庭科について採択を行ないます。家庭科は「東京書籍」と「開隆堂」の2社しかありません。皆様のご意見をお願いいたします。

山田委員…私は「東京書籍」が良いと思いました。子どもたちが分かりやすいようにきれいな写真とイラストで、單元ごとにめあてや目的がはっきりと示されているところが良いと思いました。それと手縫いのページでは、実際の手がほとんど使われておりますので、針の持ち方、しるしの付け方などがとても分かりやすいと思います。調理実習なども手順がシンプルで、分かりやすく身に付きやすいと思います。全体を見ても、子どもたちがとても使いやすい教科書だと思いますし、食育や環境、伝統文化に対する教育も充実していると感じました。

前田教育長…「東京書籍」は、巻頭に食育チェックや環境チェックのページがあり、子どもたちの意識付けに役立っていると思います。また、伝統や文化に関する教育の観点では、「日本の伝統」としてコラムを設け、着物の生地・布などをはじめ、日本の昔からの知恵や工夫を紹介している点が評価出来ると思います。言語活動の点でも、話し合い活動のコーナーや、学習カードな

どが具体的に提示されており、高学年の児童にとって適切であると強く感じています。また、「これだけはできるようになろう」というコーナーでは、それを見れば朝食づくりや掃除、ミシンを使った物づくりなど幅広く実践・体験できるようになっています。生活の振り返りや学習後に実生活に生かすよう工夫されていると思います。

桑原委員…「東京書籍」は、自分が家族の一員として何が出来るかというようなことが割りと分かりやすく作っていると感じました。衣食住全てに対して配慮が行き届いていて、特に月別の仕事のカレンダーの部分では、大人に全部やってもらうのではなくて、自分も家族の一員として家庭を考えるという方法はとても良いと思いました。

和田委員長…私は甲乙つけ難いと感じ、実は迷いました。「東京書籍」の良さについては各委員が仰ったとおりですが、「開隆堂」では「物やお金の使い方を見直そう」のコーナーで、社会状況を捉えたテーマを扱っています。また、「チャレンジコーナー」や「調べよう」では学習の発展が期待出来ると思いました。ただ、図版が込み過ぎているようにも思いました。その点で私としては「東京書籍」を推します。

それでは、よろしいでしょうか。「東京書籍」「開隆堂」の2社から、挙手により採択してまいります。「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…5人全員が挙手

開隆堂…挙手なし

和田委員長…それでは、家庭は「東京書籍」を採択いたします。

⑩種目 保健

和田委員長…それでは次に、保健について採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと「東京書籍」「光文書院」「文教社」の3社です。皆様のご意見をお願いいたします。まず、私から話をさせていただきますと、「光文書院」は、「犯罪被害の防止」に関して、「こんなときどうする？」という呼びかけがありました。これは自分の考えを整理したり、判

断力を育てたりするにはとても良いと思いました。そういった力を育てる工夫が随所に見られた点で、私は「光文書院」が良いのではないかと思います。

桑原委員…私も「光文書院」が良いと思いました。「早寝早起き朝ごはん」のように、「おだわらっ子の約束」と同じことが載っており、それが保健としては一番大事なことではないかと思いますので、「光文書院」が一番大事なことを押さえているという点で良いと思います。

前田教育長…「光文書院」は子どもの実態に寄り添っていると思いました。体育の学習もそうですが、子どもたちが今持っている力からスタートするという、非常に無理のない展開をしているように感じます。学習指導要領で重視されている知識の習得と活用のバランスを考えて、習得した知識を活用することでさらに理解を深める展開になっているように思います。その逆に、活用することから入ることで必要な知識の重要性を再認識させるなど、学習過程の工夫が非常に特徴的であり望ましいと思います。

山口委員…私は「文教社」を推します。理科や生活でもそうですが、「動物などに触る前後には必ず手を洗いましょう」というようなことはどの教科書にも書いてあるのですが、実際に手の洗い方が写真で出ていたのは「文教社」だけでした。もちろん、保健の授業は3年生からなので、1, 2年生にも本当はこれを見せたいと思ったのですが、「手を洗いましょう」と言われても実際にやり方が分からないのを、分かりやすくしているのはとても良いと思いました。また、飲酒や喫煙、ドラッグを誘われたときに「あなたならどうしますか」ということをロールプレイで子どもたちに考えさせているところも良いと感じました。「光文書院」もアルコールのロールプレイが出ていて、アルコールが一番勧められやすいので良いと思いますし、「東京書籍」も犯罪防止に対してはとても具体的に分かりやすく書いていました。どの教科書も甲乙つけ難いというのが正直な印象です。

和田委員長…それでは、皆さんから意見をいただきましたので、「東京書籍」「光文書院」「文教社」の3社から、挙手により採択してまいります。「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…挙手なし

光文書院…4人の委員（山田委員、前田教育長、桑原委員、和田委員長）
が挙手

文教社…1人の委員（山口委員）が挙手

和田委員長…それでは、保健は「光文書院」を採択いたします。

①種目 生活

和田委員長…それでは最後になりますが、生活科の採択を行ないます。前回までに絞り込んだものを順不同で申しますと「東京書籍」「学校図書」「光村図書」の3社です。3社とも、具体的な活動や体験を通して人や社会、自然とのかかわりが持てるようにどの単元も構成されています。皆様のご意見をお願いいたします。

山田委員…私は「東京書籍」が良いと思いました。「東京書籍」では、1年生の入学したばかりの子どもたちへの配慮がなされていると思いました。イラストや写真が丁寧に作っており、子どもたちが学校でとても役に立つように構成されていると思いました。それと、「いえのひとといっしょにしよう」というコーナーでは、様々な写真が載っており、家族というと両親と子どもというイメージがありますが、父と子、母と子、兄弟姉妹、外国の父と子の写真など、様々な家庭のあり方が捉えられており、とても評価出来ると思いました。

山口委員…とても迷っています。「学校図書」で良いと思ったのは、「学びかたずかん」というコーナーで、話し方・聞き方・書き方が載っており、他社の教科書ではインタビューなどでの聞き方を注意しているのに対して、「学校図書」では「日常生活で人の話を聞くときには相手の顔を見て、最後まで話を聞きましょう」などの、1年生から生活で一番大事なことがしっかり書かれていると感じました。一方で「東京書籍」では、学校の帰り道や虫探しをするときなど、色々な場面で注意することを考えさせていたので、これはとても大事なことだと思いました。また、「べんりてちょう」というものがあり、「四季の図鑑」として地方に残っているお祭りや、1年を通して春

夏秋冬の食べ物などを紹介しているのが良いと感じました。

前田教育長…先ほど山田委員が仰っていたように、小1プロブレムへの対応や幼児教育から小学校への円滑な接続を図るという観点から、「東京書籍」と「学校図書」については、1年生の就学初期に対する配慮がされていると思います。特に「東京書籍」は、入学した時の様子について、写真や絵、ふきだしなどで大変丁寧に扱っており、良いと感じました。また、随所に「やくそくコーナー」があり、ルールやマナーを守るためのアドバイス、気付きの質が高まるようなふきだしもあり、生活習慣も含めた基本的な学習習慣の定着や学習への興味関心を喚起するような内容が工夫されていると思います。

桑原委員…私は「光村図書」が良いと感じました。ホップ・ステップ・ジャンプという作り方がされており、非常に子どもが目標を持って出来るのではないかと思います。また、春夏秋冬のように季節感を分けて構成されており、それも良いと感じました。「周りの人にこんな人がいる」というような色々な写真も入っており、外に向けての目線のようなものも考えて作っているように感じました。

和田委員長…私は「東京書籍」と「学校図書」で迷いました。「東京書籍」は「考えよう、～しよう」と、子どもが進んで能動的に行動するように呼びかけているような編集方針が全体に貫かれていました。どちらかという、今は子どもたちには自分から進んでやるということが欠けている時代ですので、そのような部分を意識した編集になっているのかなと思い、評価出来ると思いました。一方で、「学校図書」はお手伝いでごみ捨てや食器洗いなど、働くことへの関心が持てるようにしている点が大いに評価に値すると思います。皆さんも最近の報道等でお分かりのように、一定の年齢になっても働くことの出来ない若者が急増している時代に、働くということを習慣化していく呼びかけを小学校低学年から行うということが、時代を先取りした考えで、一歩進んでいると私自身は感じました。引きこもりやニートの支援を行っている立場から、今後、このことを教科書でもっと重点的に取り上げられていけば良いと感じました。どちらの教科書が良いかは非常に迷いましたが、「学校図書」は次の時代をにらんで、現場で指導していただければ良いのかなという部分で、「東京書籍」を推したいと感じます。

それでは、皆さんから意見をいただきましたので、「東京書籍」「学校図書」「光村図書」の3社から、挙手により採択していきます。「東京書籍」に賛成の方の挙手を求めます。

東京書籍…3人の委員（山田委員、前田教育長、和田委員長）が挙手

学校図書…1人の委員（山口委員）が挙手

光村図書…1人の委員（桑原委員）が挙手

和田委員長…それでは、生活は「東京書籍」を採択いたします。

以上で、小学校全種目の採択が終わりました。続きまして、「特別支援学級で使用する教科用図書の採択」について審議いたします。事務局から説明をお願いいたします。

教育指導課長…それでは続きまして、特別支援学級で使用する教科用図書の採択についてご説明申し上げます。特別支援学級においては、特別な教育課程による場合において、通常級で使用する教科用図書を使用することが適当でない場合には、「特別支援学校用（小・中学部用）教科書目録（平成23年度使用）」及び「平成23年度用一般図書一覧（附則第9条図書）」の2種類の中から使用することが出来るようになっております。この学校教育法附則第9条の規定による教科用図書の採択につきましては、1年ごとに採択することとなっております。各学校が、児童・生徒の実態に応じて選択した図書を教科書として採択するものとなっております。今年度採択していただく「平成23年度使用 学校教育法附則第9条による教科用図書採択一覧」は約200冊となっております。この一覧は、各学校の特別支援学級の担当者が、それぞれの学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の個性や発達段階、障害の度合いなどを考慮しまして、「その子にあった最適な教科書は何か」という視点で選んだ一覧となっております。その選ばれた教科書を発行者ごとにまとめたものが3ページから9ページのものであります。10ページについては、特別支援学校用の教科書として文部科学省が作成した「教科書目録」の中にあるリストから選ばれたものです。各学校から希望が出された

教科書リストについては、教育委員会事務局の教育指導課にて精査し、特に問題はないということ判断し、この一覧表を作成しております。小学校用の教科書の採択と同様に、特別支援学級用の教科書につきましても教育委員の皆さんでの採択となりますので、よろしくお願ひいたします。

(質 疑)

桑原委員…どの学校に何人くらい対象の児童・生徒がいるのかといったデータはありますでしょうか。

教育指導課長補佐…本日の資料にはございませんが、口頭で説明させていただきます。

小学校全25校、中学校全11校に特別支援学級が設置されておりました、知的級、情緒級、肢体不自由級がありますが、小学校は総勢160人、中学校は総勢75人が在籍しております。それらの児童・生徒たちの教科書の一覧がお渡しした資料になっております。

和田委員長…特別支援学級用の教科書は、なぜ毎年採択をするのでしょうか。

教育指導課長補佐…特別支援学級に在籍する児童・生徒の実態として、成長する度合いがそれぞれ違うということがあります。ですので、通常級と違い、学級担任が見取ったものが、来年度継続して使われることもあります。特別支援学級に在籍する児童・生徒に対してはそのような配慮が必要ですので、毎年採択しております。

(その他質疑・意見等なし)

採決…全員賛成により原案のとおり可決

(4) 委員長閉会

平成22年9月28日

委 員 長

署名委員（桑原委員）

署名委員（山口委員）